

シンカー Sinker

3～4人 / 1ディール約5分 / 8歳以上

「シンカー」は、3人または4人の挑戦的なカードゲームプレイヤーのための、簡単なトリックテイキングゲームです。プレイヤーはより少ないトリックを賭けて、勝たないようにうまく沈む(sink)ことを競います。しかし油断しないでください、もし賭けに負けてしまえば、トリックの深い海に溺れてしまうかもしれません！

用具・カード構成・ランク

ジョーカーを除く52枚のトランプ1組から、2～6を抜いた32枚を使います。強さは強いほうから順に、A, K, Q, J, 10, 9, 8, 7です。ほかに、得点を記録するチップなどを用意します。

ディールの流れ

1回のディールは、「ディール」→「ビッド」→「プレイ」の順に進み、最後に得点をつけます。ゲームの終わりは任意に決めてかまいません（人数の倍数のディールをプレイするとよいでしょう）。

ディール

ディーラーを適当な方法で決めます。ディーラーの左隣から時計回りに、手札を裏向きに1枚ずつ配ります。1人あたりの手札は、3人なら7枚、4人なら6枚です。残りのカードは裏向きの山札にします。

次に、ディーラーの左隣から順に、手札から好きな枚数を裏向きに捨てて山札の上から同数引くことができます。1枚も捨てなくてもかまいません。山札が残っていなければそれ以上引くことはできません。

ビッド

手札を配り終わったら、ディーラーの左隣から始めて時計回りに、自分が取る最大トリック数を宣言するか、パスします。一度パスしたら、そのディールでは再びビッドに参加はできません。

宣言する最大トリック数が低いほど強いビッドです。ビッドは3からしか宣言できず、誰かが宣言したら次の人はより強い（低い）ビッドしか宣言できません。ビッドの強さは弱い順に、3→2→1→ゼロ→オール、の5種類です。オールは、全トリック取る特別なビッドです。

また、ゼロとオールに対するオーバーコールとしてのみ、得失点を2倍にするダブルゼロ、ダブルオールのビッドがそれぞれできます。ただし、ダブルゼロよりもただのオールの方が強いビッドです。

1人を除く全員がパスしたら、最後にビッドを宣言した人がデクレアラーになります。オールの場合のみ、デクレアラーは捨て札を全部手札に入れ、その後手札が元の枚数になるよう裏向きに捨て札してもかまいません。

全員が宣言せずパスしたら、「ダイビング」のプレイを行います。

プレイ

デクレアラーが最初のリードを行い、マストフォローのトリックテイキングをプレイします。切札はありません。

デクレアラーが取ったトリック数をビッド以下に抑える（オールの場合は全トリック取る）ことに成功したら、デクレアラーの勝ちです。逆に、ビッドしたトリック数を超えてトリックに勝ってしまえば（オールの場合は1トリックでも取り逃したら）、デクレアラーの負けです。

「ダイビング」では、ディーラーの左隣が最初のリードを行い、全トリックをプレイします。

得点

1 ディールが終わったら、得点をつけます。

デクレアラーは勝てば得点し、負ければ失点します。得点は通常のビッドでは(10-ビッド数)、オールは15点、ダブルのビッドは各2倍です。負けたときの失点は、ビッドに準じた得点をそのままマイナスしてください。ビッドを超えない範囲でトリックを取っても失点はありません。

他のプレイヤーは、通常のビッドのときは1トリック取るごとに-1点です。オールのときは、デクレアラーが失敗したら15点（ダブルオールなら30点）を人数で頭割りします。端数の得点（チップ）は、ポットに入れて次のトリックに持ち越してもよいでしょう。「ダイビング」のときは、最も多くトリックを取ったプレイヤーが-10点です。2人以上が最多トリックで並んだら、全員が-10点です。

複数ディールをプレイし、合計点を競います。

作者より

ビッドをするトリックテイキングゲームは数多くありますが、より少なくビッドするゲームはあまり見かけません。ハーツ（ブラックレディ）を覚えたプレイヤーがビディングに進むためのステップとして、そのような軽いゲームが一つあっても面白いのではないかと、というのが着想の原点になっています。

パブゲームとして作りましたので、得点の幅はすこし大きめに決めてあります。お酒を飲みながら（飲まなくてもいいですが）ゆっくり楽しんでいただければ何よりです。

『シンカー』は、2017年1月の「Trick Taking Party ゲーム賞 (<http://tricktakingparty.net/>)」で準大賞を受賞しました。

Sinker

Game Design: Kazuma Suzuki (Twitter: @_kazuma0221)

Playtest & Development: Tori Hasegawa, Kenjiro Ito, Ashio Kojima, Keiji Masui, Hiroki Okawa (alphabetical order)

©Tarte Games 2017

Email: tartegamestokyo@gmail.com